

# ストップ！DV！身近な人と一緒に考えてみませんか？

**STOP**



信頼あるパートナーシップを築くために、暴力は100%あってはならない行為です。「自分が悪かったから」「自分が我慢すれば済む」と考えていませんか？暴力を振るわれたあなたに責任はありません。ひとりで抱えこまないで。

## くりかえされる暴力



### 精神的暴力

- 「誰のおかげで生活できんだ！」「何の役にもたない」「くず」などあなたの心を傷つける。
- 大声でどなる。
- 交友関係や電子メール、電話、郵便物を細かく監視する。
- 大切にしているものをこわす、捨てるなど。



### 身体に対する暴力

殴る、蹴る、物を投げつける、刃物や凶器になるものを振りかざし脅す、一晩中眠らせないなど。

### 経済的に 圧迫する暴力

生活費を負担しなかったり、少額しか渡さなかったり、仕事を無理やりやめさせるなど。



DVの中でも、恋人同士の間で暴力で相手思いどおりにすることを**デートDV**と言います。

大人だけの話ではありません。

暴力には3つの場面からなるサイクル（周期）があると言われています。このサイクルが繰り返されるごとに、速度は増し、暴力の頻度や程度もエスカレートします。

### 緊張の蓄積期

イライラして小言を言ったり、軽い暴力を振るい、緊張が高まっていきます。あなたの原因が自分にあるのではと思ったり、相手を刺激しないように言動に気をつけたりしているかもしれません。



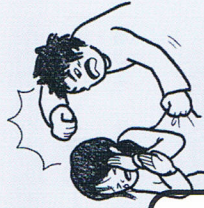
### ハネムーン期

やさしくなります。後悔したり、もう絶対にしないと約束をしたりします。あなたは、それを信じ、やり直そうとするかもしれません。しかし、ハネムーン期は続かず、また、緊張が高まっていきます。



### 暴力の爆発期

どなったり暴力を振るうなど、自分自身をコントロールできなくなります。あなたは重いケガを負うこともあります。



### 性的暴力

望まない性行為の強要、避妊に協力しない、見たくないポルノビデオや雑誌をみせるなど。



夫婦や恋人など親密な間柄で行われる暴力行為をドメスティック・バイオレンス(DV)といいます。多くの場合女性が被害者となっています。